



球磨支援学校同窓会「青年学級」を実施しました

球磨支援学校では、卒業生が、卒業生同士や保護者との親睦を図り、今後のより豊かな生活に繋げるための同窓会を年に2回計画しています。今年度は、1回目の同窓会「青年学級」を7月25日（土）に実施しました。50名程の参加があり、ボッチャや茶話会を通して親睦を深めたり、思い出話に花を咲かせたりされていました。次回は1月に、令和6年度卒業生を対象とした「20歳を祝う会」を予定しています。在校生の皆さんも、卒業後の友人同士の繋がりと学校との繋がりを大切に、同窓会の存在をぜひ知っておいてください。



キャリア教育とは？

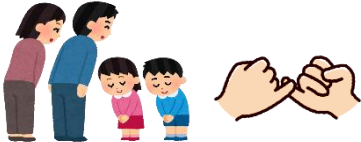


「キャリア教育」と言われると、難しく考えたり具体的なイメージがもちづらかったりするかもしれません。今回はキャリア教育について、保護者の方に向けて具体的な内容や大切にしているポイントをまとめました。特に小学部の保護者の方の参考になれば幸いです。

キャリア教育とは、「子供が将来、自分らしく自立して社会で生きていく力を育てること」全てを指します。幼児期の遊びや生活の自立から、成人期の社会参加までを見据えた生涯を通じたプロセスのことです。

1. キャリア教育の「4つの柱」

文部科学省では、キャリア教育で育てるべき力を以下の4つに分類しています。

	4つの柱	具体例
1	人間関係形成・社会形成能力 	・挨拶・返事、時間を守る、身なりを整えるといった、社会で人と関わるための基本的な生活習慣やマナー ・自分の気持ちを伝える ・決まりを守る など
2	自己理解・自己管理能力 	・自分の得意・不得意を知る ・体調を整える ・困ったときに「手伝って」「助けて」と言える など
3	課題対応能力 	・予定を自分で確認する ・手順通りに作業する ・失敗したときにやり直す など
4	キャリアプランニング能力	・自分の未来をイメージし、どんな生活をしたいか考える ・働くことに興味を持つ など

2. 学校での具体的な取り組み（学部ごとの流れ）

	学部	具体例
1	小学部：基礎作り	・ 基本的な生活習慣 （挨拶、排泄、着替え、給食、歯磨き、片付けなど） ・ 係活動で役割を果たす ・ 「できた」「楽しい」「誰かの役に立った」という自信や達成感を積む → 働くことへの興味や意欲を育てる ・ 集団行動でのルールや友達との関わり
2	中学部：社会へのつながり	・ 校内での作業学習の開始 ・ 地域の見学や職場訪問 ・ 働く大人の姿を見る
3	高等部：実践と社会移行	・ 実際の企業や福祉施設での「産業現場等における実習（現場実習）」 ・ 履歴書の書き方や面接の練習 ・ 進路先の決定と、卒業後の生活に向けた具体的な準備

3. 家庭でできる応援（保護者の役割）

キャリア教育は、学校と家庭等が連携することで最も効果が出ます。家庭の日々の生活を少し意識していただけたらと思います。

1 小さな「役割」を作る

- ☐ 靴並べや配膳など、毎日続けられるお手伝い→自立心や責任感が育つ。
- ☐ 「ありがとう、助かったよ」と言葉で褒める。

2 生活リズムを整える

- ☐ 早寝早起き、朝ご飯を食べる。
- ☐ 将来「毎日会社や施設に通う」ための体力をつける。

3 「自分で選ぶ」機会を増やす

- ☐ 「今日着る服」「今日のおやつ」を自分で選ばせる。
- ☐ 自分で決める経験が、将来の進路選びに繋がる。

4 強みを見つけて伝える

- ☐ 「手先が器用」「笑顔が良い」「時間を守る」など。
- ☐ 自分の良いところを知ること、自己肯定感が高まる。

キャリア教育のゴールは、「就職すること」だけではありません。

「自分を知り、周りの人とつながり、自分らしい生き方を見つけること」が最大の目的です。ご家庭だけで将来のすべてを背負い込む必要はありません。一人一人のペースに合わせながら、子供たちの「将来の夢や希望」を学校と家庭、地域、関係機関みんなで育てていきましょう！